

日米加 ギャンブル依存症対策を考える 国際カンファレンス

2026/

11/7(土)・8(日)

東京ビッグサイト 国際会議場

(受付開始 13:00)

13:30-14:00

開会式・主催者挨拶
田中 紀子

14:00-15:00

基調講演：自死遺族の支援と家族の回復
ロンダ・ハテフィ

15:15-16:15

講演1：ギャンブル問題と税収・オンライン化の現状
レス・バーナル

16:30-17:30

講演2：ギャンブル依存症の各種プログラム
キティ・マーツ

18:30-20:00

講演3（医療専門職向け）：ギャンブル障害のための認知行動療法（CBT）
キティ・マーツ

(受付開始 10:30)

11:00-12:30

シンポジウム1：ギャンブル問題と自死
ロンダ・ハテフィ／レス・バーナル／田中 紀子／神原 充代

13:30-15:00

シンポジウム2：スポーツベットの現状と若者・選手への影響
ロビン・キャンベル／ブルース・キッド

15:15-16:00

特別講演：日本のギャンブル問題の現状
西村 光太郎

16:00-17:00

シンポジウム3：国際連携の重要性とWHOへの働きかけ
ブルース・キッド／レス・バーナル

17:15-19:15

パネルディスカッション：国際連合実現に向けた展望と質疑応答
オールスピーカーズ

Day1 11/7(土)

Day2 11/8(日)

登壇者

(敬称略)



レス・バーナル

Stop Predatory Gambling ナショナルディレクター

2008年から商業ギャンブルによる被害防止と政策改革に取り組む。米国連邦議会や30以上の州議会で証言し、国内外のメディアへの出演や講演を通じて啓発活動を展開している。



ブルース・キッド

The Campaign to Ban Ads for Gambling 代表

トロント大学名誉教授であり、元オリンピック選手。カナダにおけるThe Campaign to Ban Ads for Gamblingの代表を務めている。



ロンダ・ハテフィ

Oregonians for Gambling Awareness Organization創設者

1995年団体を設立。複数の支援団体に要職を務め、全米初の「ギャンブル被害防止啓発の日」の制定に貢献。家族を失った経験を原点に、被害防止と啓発活動に取り組んでいる。



キティ・マーツ

Voices of Problem Gambling Recovery エグゼクティブディレクター

ギャンブル依存症からの回復経験を持ち、15年にわたり当事者や家族を支援。TEDx講演や回復支援活動を通じ、実体験と専門知識を生かした認知行動療法の実践的なツールを提供している。



ロビン・キャンベル

The Campaign to Ban Ads for Gambling 理事

弁護士を引退後、アスレックス・オンタリオ（オンタリオ州陸上競技協会）およびオンタリオ総合馬術協会の副会長を歴任し、現在はThe Campaign to Ban Ads for Gambling 理事。



西村 光太郎

独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター精神科医

2012年東京大学医学部卒業。内科・精神科での研修を経て、2017年より久里浜医療センターで各種依存症の診療に従事。大学非常勤講師を兼任し、2025年に「こころのクリニックひだまり」を開業。



田中 紀子

公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会 代表

祖父・父・夫がギャンブル依存症という家庭環境を経験し、自身もギャンブル依存症と買い物依存症から回復。著書に『三代目ギャンブルの物語』『ギャンブル依存症』『家族のためのギャンブル問題完全対応マニュアル』がある。

※予定は予告なく変更することがあります



公益社団法人

ギャンブル依存症問題を考える会

The Society Concerned about Gambling Addiction

お問合せ連絡先・・・ ☎ 03-3555-1725 ✉ intl-conf@scga.jp

● 本カンファレンスの一部に、令和8年度依存症民間団体支援事業費補助金を使わせていただいております。

参加申込み

入場料：各日1,000円
(※当日現金払いのみ)

参加をご希望の方は、右記QRコードより事前申し込みをお願いいたします。定員になり次第、受付を終了いたします。



(2026/10)